

みんななかよく

真喜良小学校 一年

島袋 莉駆

ぼくは、せんそうがだいきらいです。てれびでせんそうのことをやっているとおかあさんがぼくに、

「せんそうはいいことがないのに、なんでするのかなあ。りくは、どうしてせんそうするとおもうの。」
ときいてきました。ぼくは、

「わからないけど、わるいひとがいうことをききなさいって、おこって、てっぼうとみさいるをうってにんげんをころすんじゃないの。」
といました。

「じゃあせんそうがおこるとどうなる。」ときいてきたので、ぼくは、

「いやなきもちになる。」といました。するとおかあさんが、いやなきもちのほかに、いえやたてものがこわされたり、パパやママがしんだりするし、たくさんのひとがしんで、かなしいことがおきるとはなしてくれました。

ぼくは、なんでみんななかよくできないのかなあとおもいました。でもぼくはよく、おとうとのしゅんとけんかをしませけんかをするといつもママに、

「ふたりともやめなさい。なんでなかよくできないの。」とよくおこられます。

ママからせんそうのはなしをきいて、しゅんとけんかをしないようになかよくしようとおもいました。

そして、せかいじゅうのみんながぼくみたいになかよくしようとおもってくれたら、

せんそうがなくなるとおもいます。パパとママとおとうとがしんだりなんかするなんてぜったいいやです。

みんなでなかよくいつまでもたのしくしあわせにくらせるほうがいいです。

だから、ぼくはこれからも、みんなとなかよくしていきたいです。